

THE JAPANESE CHAMBER OF COMMERCE, TSINGTAO

經濟周報

第百二七號



青島日本商業會議所

(中華郵政特准掛號
大正十四年十一月九日發行)

每週月曜日

▼本號記事

膠濟鐵路狀況調查報告（其二）

資料

（一）運輸の部

（二）旅客輸送に對する計畫

旅客輸送は日本管理時代に比較して日に増加するの觀あり、現在及將來の情形を觀測するに青島、濟南間に毎日特別急行列車一往復、青島坊子間、坊子張店間に混合列車各一往復を増加せしむ可し。此外青島滄口間の混合列車は其場合の情形を按照して増加せしむ可し。

（三）貨物輸送に對する計畫

貨物輸送は張店青島間を最も密とす、將來貨物輸送の發達に應し青島張店間毎日十四往復、張店濟南間六往復を運轉せしめざる可らず、現在の列車回數を以て之と比較せば青島張店間に於て毎日六往復合列車各一往復を増加せしむ可し。此外青島滄口間の混合列車は其場合の情形を按照して増加せしむ可し。

（四）現在の線路狀態は營業狀況と適合するや否や

查するに該鐵道は前清光緒年間に於て獨逸人の手に創設せられ一八九九年九月より起工し一九〇四年六月竣工せり、全線

開通したる當時、一意之が完成に急なりし爲凡ての路上造營物軌條、橋梁驛、車輛等に簡易と脆弱なる施設を以てせら、嗣で日本人之を繼承するや歐戰方に酬にて改善に從事するの暇なく、唯だ客貨逐年増加するが爲牽引力擴張の急務に逼られ所謂當面主義を以て大正五年度以降重量機關車（重量百二十餘噸）を採用せり、然れども獨逸管理時代の六十磅軌條の耐力薄弱なるを以て之が增進策として枕木を增添し若は全線中軌條折損事故最も多き區間即ち城陽李哥莊間の如きに對し一部薄弱軌條を交換せり、今後若し營業の發達と收入の増進を謀らんと欲せば必ずや先づ軌道の改良へ國有各鐵道は凡て八十五磅を使用す）を要す該鐵道の軌條は重量六十磅なるが故運轉速度も増大し得ざる上重量にも堪へざるを以てなり、又該鐵道沿線架設の大橋梁も均しく薄弱且乎居るの現狀に鑑み此軌條及橋梁の改修を實施するに非れば到底營業の發達を企圖し得べきに非らず先づ之を完修したる後貨車（四十噸）を増加し牽引力を裕充するに於て初て客貨暢通、營業發達を期待すべきなり。

寅、現在の設備にて需用を充たし得るや否や

（機關車、貨車、客車の三項を指す）

查するに鐵道の設備が需用と均衡するを最も貴とす、既に需給均衡を得れば總ての措置にも初て餘裕あるべし、該鐵道の設備が簡易脆弱にして線路は營業上諸般の情形と合致せざるは已に詳述したる物なれば以下に機關車、貨車、客車の三項に就き略述すべし。

一、機關車 該鐵道の機關車は接收當時全線に現在するもの百〇二輛にして内

六聯式九輛（シックス、カツブルド記號）大六聯式十三輛（シックス、カツブルド記號）十輪式三十輛（テンホウラーリー記號）輕快式

五輛（コンソリデーション記號）等

太平洋式八輛（バシフヒック記號）等

にして其中入場中なる大六聯式一輛、十輪式四輪、凝結式三輛を除き外に尙六聯式三

輛、凝結式三輛を除き外に尙六聯式三

輛、十輪式十二輛、八聯式一輛、凝結

式十六輪、太平洋式一輛は引渡以前日

本側にて検査實施印各部未だ完整せず

此等の爲機關車の狀態頗る不良なるに

加ねて破損も異常にして當時完全に使

用し得るもの僅に五十輛ありしのみ依

て其破損程度を審査し漸次四方工場に

廻入修理を加えんとせり、然れども修

理を要する車輛多き所に材料又極て缺

乏し折角修理して未だ出場せざるに再

ひ破損するあり更に運轉不能のもの踵

は晝夜加工に懸命の努力を續けたると

斯くする中日本管理中購入契約をなし

たる六輛が期を誤たず到着納入された

る等に依り現在使用に堪へる機關車合

計約八十餘輛あるに至れり然りと雖も

軌道強固ならず橋梁脆弱にて凝結式、

太平洋式的如き自由に運用し得ざる爲

牽引力之に因りて大に減退し客貨運輸

設備も障礙を受くること渺ならず、例

ねば旅客輸送に當り二、三等旅客非常

に雜踏するを以て客車を増結せんと欲

するもT、型機關車を用ひんとせば橋梁

脆弱にして之が重量に堪へざるが如し

貨物用機關車の如きは接收當時破損車

多數にて修理之に副はざる爲め往々中

途各部損傷を來し牽引能力を發揮し得

すして連結車輛數を減するあり或は時

に遲延するなり此等の原因錯綜して貨

車の運用循還期日延長さる、等是皆機

關車設備を急速整頓せざる可らざ所以

なり

二、貨車 該鐵道の所有する貨車は合計

二千一百十五輛（平均十五噸車を以て

標準とする）にして其内有蓋車三百八十

八輛、石災車五百六十三輛、コーケス

車七十五輛、石灰車二十輛、雜側車九

十八輛、動物車一輛、鮮魚車三輛、油

槽車十三輛、三十噸無蓋車三十四輛、

三十噸石炭車三百八十九輛、三十噸礦

石車五十輛、及三十噸油槽車三輛等な

り、此等の車輛中引繼以前に在りて修

理未完了のもの及破損運用に堪へざる

もの各車平均約百分の二十五に達せり

得る車輛は僅に有蓋車八十二輛、無蓋

車及石炭車三百輛に過ぎざるなり

車輛は如此不足なるに沿線の出貨は逐

繁忙を極めんとする故車輛の配給上往々

需給件はす加ふるに機關車は有るも使用

に任せすして貨車の運用循還期日延長

するに至る年來の貨物輸送情況に就て論

來れば有蓋車は急速増車を要するのみな

らず石炭車の増加も等閑に過し難き情勢

に在れば宜しく速に貨車購入の處置を講

すべきなり

三、客車 査するに該鐵道所有客車計百

九十六輛にして其内一等貴賓車一輛、

專用車二輛、一等寢台食堂車六輛、一

二等合造車十四輛、二等客車十一輛、

二三等合造車十二輛、三等客車七十九

輛、小三等客車八輛、郵便車三輛、手

小荷物郵便車三輛、小荷物車六輛及車

掌車五十一輛なり、而して旅客輸送は

逐年增加の傾向にありて現在の客車數

は漸く之が輸送に應し得ると稱するに

過ぎず、一等寢台食堂車の如き僅に六

輛を以て常に不足を訴ひつゝあるに鑑

み一九二五年以降一九二七年に至る此

期間に於て毎年一輛宛増加の必要ある

べし、三等旅客は年々必ず増加すべき

れば是又一九二八年以降一九三〇年に

至る期間内毎年五輛宛合計十五輛は增

車を要すべし、要するに客車は宜く分

期購入すべきものなり

(二)驛に關する設備

查するに該鐵道が獨日管理時代に在りて

是軍事若は殖民等種々なる關係と並當時

地方の情勢に對應し簡易倭小なる大小各

驛に對し左に略述すべし

青島、青島驛乘降場は二箇列車を同時に

着發せしめ得ざるものなれば向側に「ホ

ーム」を添設し之が南段に便道を設け旅

客の往來に便せしむ可し、但し貨物列車

に對する軌道より論せば青島驛は地勢狭

隘にして排備上頗る困難を感じ且つ軌道

縱橫に交叉し事變惹起の虞あり、現在の

貨物線は東側に偏して擴張の餘地なく且

つ貨物室極て小にして容るに足らず惟

だ其附近居住の商人に對して有利なりと

稱するに過ぎず將來貨物輸送繁劇を加ふる時方法を講して他處に移轉を圖らざる可らず、該驛の西方に尙空地あり、側線を贈設し別に貨物室を建築するか或は全部を移轉せしむ可きか若は現在の軌道建物を保留して商貨來集の場所とし更に西南に軌道貨物庫を新設して重量粗貨類例にば石炭、鐵木材等の如き種類の積卸場に充つるの方法を執るにあり

大港、大港は該鐵道に於ける水陸交通の中心點なり、凡ての輸出入貨物は此驛にて聯絡せらる、輸送及入換上より之を論すれば大港驛是最も繁要の驛にして該驛の運轉線路を二區に分ち一は旅客列車線とし一を貨物列車線とすれば他に入換線なるものなし該驛と驛各區間とは往復入換は繁忙且つ重要な作業とす想ふに青島驛は地勢狹溢擴張の餘地なけれど宜くなるものなし該驛と驛各區間とは往復入換を爲さる可らず惟だ該鐵道が如斯大港驛の擴充に努力するに拘らず、港政局が埠頭岸壁の損壞するをも等閒に過すが如きことありては貨物輸送上の咽喉を扼せらるゝ丈け充分の發展を望み難きに終るべし

張店、張店は該鐵道の大宗貨物たる石炭輸送上の咽喉なり該驛は博山、淄川に至る支線の分岐點にして軌道縱橫、列車交錯毎日幹支両線より着發する列車數約四十二回の多きを算ね、此驛にて編成若くは回送する盈空車輛數毎日平均約八百輛に達し全線中運轉關係の最も繁忙なる驛なり現在の設備は既に作業上に狹溢を感じつゝある處にして日本時代曾て擴張の議ありしも華府會議にて支那に還附を決定されたる爲其儘に擱置されたるものなり年來運輸日に増加の趨勢にあれば將來必ず貨物列車も増發さるべきは該驛の設備に對し考慮せざる能はざるべし現在の驛舎は狹少且擴張の餘地なければ宜しく張店驛を東方に移轉せしめ側線を多數添設して運轉上の便益を圖るべきなり濟南、濟南驛は該鐵道の西端驛にして津

浦鐵道との接續地點として一切の設備粗
ば規模を備へり以前より接續線ありて膠
濟、津浦兩線の車輛聯絡に備ゑられたん
日管時代には之を使用するに至らざりし
が現在膠濟鐵路が既に我が有に歸したる
以上當然速に相互聯絡を恢復して商賈旅
客の便を圖るべきなり、將來兩鐵道正式
に聯絡輸送を開始し業務發達の際は兩驛
を合併して一を旅客驛一を貨物驛とし、
一鐵道局に依りて負責管理せらるゝに至
らば權限も能く統一せられ經費も亦節約
し得て其利益や大なるべし

大崑崙、本驛に對する獨、日管理時代の
設備甚だ簡に過ぎたり近年該驛附近一帶
の石炭產出量驟に増加し輸送も漸く繁忙
ならんとせり若し速に擴充することなく
んば時勢と商業の實需に應する能はざる
べし且つ西崑鐵道が己に開通營業し居る
ことなれば該驛の入換、石炭の積卸等種
々の點に於て日に増し繁劇を來たすこと
なる可く更に一、二線側線を添設して積
卸に便利たらしむ可きなり

以上の諸驛は僅に差逼り擴充を要するも
のを列舉したるに過ぎず尙高密、坊子、離
縣及之が中間諸驛或は僅々二線を有する
に過ぎざる如き驛に就て論せば線路過少
なるか故に列車の運行を阻礙し亦入換に
も不便を感じること甚しきもの或は運轉
繁忙を加ふるに從ひ從來の設備を以て之
に應じ難きものに對しては速に側線の増
設、設備の擴張を行ひ以て營業の發達に
順應せしむべきなり

收を以て限度とし其種類と亦商業の障害たらざる事の條件を附し會議によりて之を決し附加稅の實行期、途及條件も亦會議によりて之を決す。

府會議に基く暫行規定たる二分五厘増
案及裁厘問題を主眼とするものである
果して厘金廢止か實行の可能性を有す
や否やは疑問であると思はれる

新税は厘金收入金額に比較すれば其數

倍に當る苛稅にして折角關稅會議の恩澤により漸く惡稅厘金の撤廢を見たりとするも現在山東の現狀より見れば苛稅誅求は會議の爲め更に苦境を進めたるものにして即て各省の蜀立を促進せしめ方端を

堅守ならしむるに努むるの結果四分五裂となり各督辦は自己擁護の爲め其手段を選はざるに至るへく却て寒心すべき結果を生すべし

關稅會議に於ける 日本全權並に隨員

今回開催せられた支那關稅會議に對し
日本全權並に隨員及各關係官其氏名は左
の如く決定した

専 権
全 権
委員 日置大使
佐分利局長 芳澤公使
部屬託 堀參事官
庄司屬託 関岡
官 中島大藏書記官 公森大藏事務
官 橫竹商務書

書記官 重光書記官 津島大藏書記官
澤田書記官 岸田書記官 岩村書
記官

官	吉岡商工技師	守屋事務官	寺尾商工書記	西大藏技師	詫官
監崎事務官	堀内事務官	日高事務官	井上外交官補		

清野理事官 飯島外交官補 有野
通譯官 代表附 寺岡屬 米川書記生 薬師寺

書記生 古屋書記生 木村書記生
原田書記生 大西屬 田中書記生
松原屬 加賀書記生 島田屬 加
賀書記生 烏田屬 古出書記生 加

賀書記生 島田屬 石出書記生
松本書記生 野村書記生 朝日奈
書記生 錦本屬 平川大藏屬

同一商埠地內統一
稅廢止

同一埠地内に輸送する貨物に對し青島統稅分局が統稅課稅を主張したるは通商條約違反なるを以て日本總領事館日本商業會議所は之は通商條約違反なりとし其

某會議所は之に通商條約違反たりとし其撤廢を要求するに決し濟南統稅局總辦に對し抗議を提出せり本件に關しては濟南總領事藤田榮介氏専ら交渉の任に當り解

決に努力せられしか十一月二日の會見當

特別關稅會議の 二段目

時事

以上の諸驛は僅に差遣に拵すを要するのを列舉したるに過ぎず尙高密、坊子、濰縣及び中間諸驛或は僅々二線を有するに過ぎざる如き驛に就て論せば線路過少なるか故に列車の運行を阻礙し亦入換にも不便を感じること甚しきもの或は運轉繁忙を加ふるに従ひ從來の設備を以て之に應じ難きものに對しては速に側線の増設、設備の擴張を行ひ以て營業の發達に順應せしむべきなり

收を以て限度とし其種類と亦商業の障害たらざる事の條件を附し會議によりて之を決し附加税の實行期、使途及條件も亦會議によりて之を決すべき事

府會議に基く暫行規定たる二分五厘增稅案及裁厘問題を主眼とするものであるが果して厘金廢止か實行の可能性を有するや否やは疑問であると思はれる
支那で厘金稅を採用したのは清の咸豐三年長髮賊の亂に當り戰時稅として賦課されたるを嚆矢とし乱後に全國に普及され以て今日に至つたもので現在支那國內法稅制の一となつて居るのである其稅率と課稅法は地方によりて大いに差異あり課稅の名稱と亦異にして居る而して其稅率と課稅規則とは支那政府か南京條約以來幾度か公表を約して置きならる未だ一回も實現せられたる事無く一般商民は其原因を知るに苦しみつつ何等の考慮もなく此壓制の下に屬伏するのである厘金は實質より見るも地方稅であつて地方行政の經費に充當せらるるものなる爲各省稅率又は課稅法の一様ならざるは止むを得ずとするも地方官憲の怠慢といふよりも其實情調査の容易ならざる事を想像し得るのである

府會議に基く暫行規定たる二分五厘增稅案及裁厘問題を主眼とするものであるが果して厘金廢止か實行の可能性を有するや否やは疑問であると思はれる
支那で厘金稅を採用したのは清の咸豐三年長髮賊の亂に當り戰時稅として賦課されたるを嚆矢とし乱後に全國に普及され以て今日に至つたもので現在支那國內法稅制の一となつて居るのである其稅率と課稅法は地方によりて大いに差異あり課稅の名稱と亦異にして居る而して其稅率と課稅規則とは支那政府か南京條約以來幾度か公表を約して置きならる未だ一回も實現せられたる事無く一般商民は其原因を知るに苦しみつつ何等の考慮もなく此壓制の下に屬伏するのである厘金は其實質より見るも地方稅であつて地方行政の經費に充當せらるるものなる爲各省稅率又は課稅法の一様ならざるは止むを得ずとするも地方官憲の怠慢といふよりも其實情調査の容易ならざる事を想像し得るのである

るの餘儀無きに至れり
新稅は厘金收入金額に比較すれば其數
倍に當る苛稅にして折角關稅會議の恩澤
により漸く惡稅厘金の撤廢を見たりとする
も現在山東の現狀より見れば苛稅誅求
は會議の爲め更に苦境を進めたるものに
して却て各省の獨立を促進せしめ防備を
堅守ならしむるに努むるの結果四分五裂
となり各督辦は自己擁護の爲め其手段を
選はざるに至るへく却て寒心すべき結果
を生すべし

日山東統稅總局總辦高鳳和氏は同一商埠地の貨物に課稅するは統稅局の意志に非す取扱者の錯誤に基因せるものなれば直ちに課稅を行はざる様通告すへしと言明し關係書類に調印せしとの藤田總領事よりの電報に接したるを以て五日商業會議所は直ちに青島分局长を訪問し其實否を尋ねたるに本件は濟南統稅局總辦の命により既に課稅の廢止を實行爲し居れりと答へたるか此回答により漸く吾人商民は通商條約の力により不當課稅の一部を免るゝに至りたるものなり

膠澳商埠地の範圍は舊租借地を包括せる一帶を指すものなれば爾來不當課稅の災を受くる事絶對無く若しありたる場合は直ちに總領事館又は日本商業會議所に御通知ありたし

臺東鎮電報局新設

青島の電信局は市の西南隅に僻在し中央市場並有力なる商家並に貿易業者との距離甚だ遠く打電にも着信にも時間と労力の冗費甚たしく殊に日管時代に發達せる所謂新市街地は工場地帶と共に市の東北に伸びたる爲め電信の配達成績漸次不良となり來り之を救濟せん目的の下に全地附近に一の分局を設置する必要ありとする論は漸次有力となりたるにより支那當局に於ても亦其必要を認め準備中なりしか愈々奉天路中段に臺東鎮電報局の名稱を用ひ一分局を設置せり

全分局は十月二十五日事業開始せるか成績頗る良好にして第一日は午後二時頃迄に發送歐文三通和文十四通着信歐文六通和文十一通の取扱を爲せり從業員は悉く支那人にして萬局長外三人の局員を置き技術者は本局に在りて熟練せるものを任用し受附配達には日本語を解する者を配せる等注意周到にして一基の需信機を据付け遺憾なく業務執行しつつあり局所在地は奉天路の中央部に位し工場地並に新市街地の中部に在り配達打電等に從來の如き不便を感じず需報配達夫二名を使ふし配達の敏速を許る由なれば該地方住民は漸く半里の途を往後する必要なく商民共に愁眉を開けり

臺東鎮電報局新設

青島の電信局は市の西南隅に僻在し中央市場並有力なる商家並に貿易業者との距離甚た遠く打電にも着信にも時間と労力の冗費甚たしく殊に日管時代に發達せる所謂新市街地は工場地帶と共に市の東北に伸びたる爲め電信の配達成績漸次不良となり來り之を救濟せん目的の下に本地附近に一の分局を設置する必要ありとする論は漸次有力となりたるにより支那當局に於ても亦其必要を認め準備中なりしか愈々奉天路中段に臺東鎮電報局の名稱を用ひ一分局を設置せり

全分局は十月二十五日事業開始せるか成績頗る良好にして第一日は午後二時頃迄に發送歐文三通和文十四通着信歐文六通和文十一通の取扱を爲せり從業員は悉く支那人にして萬局長外三人の局員を置き技術者は本局に在りて熟練せるものを任用し受附配達には日本語を解する者を配せる等注意周到にして一基の需信機を据付け遺憾なく業務執行しつつあり局所在地は奉天路の中央部に位し工場地並に新市街地の中部に在り配達打電等に從來の如き不便を感じず需報配達夫二名を使用し配達の敏速を許る由なれば該地方住民は漸く半里の途を往後する必要なく商民共に愁眉を開けり

夏枯期を過ぎたる當港鶏卵輸出は日本内地の市場の活況と共に本月中に合二万四千七百七十箱の輸出を爲せしか其内濟南物は最も活況を示し一万八千七百九十九箱と激増し青島物は五千九百九十一箱と前月と大差なき状態に推移せしも期節に入りて活氣つき來りたるは明らかにして前途に期待を喚起しつつあり本月中の輸出仕向地を見るに最も著しきは神戸の一万六百九十九箱にして次は宇品の四千九百三箱門司の三千四百五十箱横濱も本月に入りてより著しく活氣を見せて三千七十一箱の輸出卵を送るに至りしか大阪は二千五百九十七箱を算し前月に比すれば十二箱と殆んど倍額に達する激増を現はし來れり之を各輸出店別に觀察すれば日

週初十二月渡三志二片十六分の一、五十二両四分の三賣人
七十八弗八分の一、五十二両四分の三賣人に開始せる上海市場は支那投機筋が日
米爲替の昇騰氣構へに圓買進みに出でたる爲め漸次軟化して火曜日十二月渡三志
二片八分の三、七十七弗十六分の七、五
十三両十六分の七買人となり週末銀塊相
場の下落と支那人買抬頭に更に暴落終に
十二月渡三志二片八分の一、七十七弗八
分の一、五十三両四分の三買氣と市況尙
軟調裡に引けたり
此間日米相場は堅實なる上足取を示し
週初十二月物四十一弗賣氣より漸騰して
週末には十二月渡賣人四十一弗十六分の
五買人四十一弗八分の三を唱ふるに至れ

◆綿糸布 時局に禍されて暗黒を
せる市場は外米棉三品相場の急落に
内苦力強制徵發にて輸送機關杜絶し
りて益々氣配悪く成行亦殆ど見當らず
末奥地の在荷薄にて小口客當用買に
あり一方強制徵發の魔手紡績會社驟
及び出勤率減少して自然操短に至り
を傳へ華商側一致自制策を講じつ
て稍々人氣落付模様に見受けられね
週を通じ相場殆ど見當なし

△鶏四
し出廻り葉内地市場蔵
なると外商にため相場保
二十元小十
いての豪華中二十元小
休合裡に大
現物市場の
廿六日休
も双方見送
始まり翌廿
末十八元四
覗き七四八
一円十五錢
及び上海標
圓合割割
賣人氣旺盛
般無十二
げなるも週
生油一月

會廿七日現物
月限九元五十
末再び六仙十
限週初十八元
十仙鶴保合大
十五錢に大引
十五錢に物資
重陽節にて陳
安の一三九元
金の強調を教
て八四占に併
て依然軟軟小
十六元五本
週を終る

同様時局の影響を受け
出廻り依然僅少なるも
味にあるため相場大體
止せるも内地依然不味
みも時局以來中止せる
二十二元中十九元乃至
至十七元週央二三日續
々しく強調大二十三元
五十仙見當爾後大體強
引け

合計	三、〇七	三、〇二	三、〇一	二、八一	一、六五	二、四三	一、八〇五	七九三	七三七	青島品	濟南品	先出	輸入	他品	濱口	阪戸	大神	門宇	神大	其横合	示せは左の如し
五、九一	一八、七九	五	二、七〇	二、八一	一、六五	二、四三	一、八〇五	七九三	七三七	青島品	濟南品	先出	輸入	他品	濱口	阪戸	大神	門宇	神大	其横合	示せは左の如し
五、九一	一八、七九	五	二、七〇	二、八一	一、六五	二、四三	一、八〇五	七九三	七三七	青島品	濟南品	先出	輸入	他品	濱口	阪戸	大神	門宇	神大	其横合	示せは左の如し
五、九一	一八、七九	五	二、七〇	二、八一	一、六五	二、四三	一、八〇五	七九三	七三七	青島品	濟南品	先出	輸入	他品	濱口	阪戸	大神	門宇	神大	其横合	示せは左の如し
五、九一	一八、七九	五	二、七〇	二、八一	一、六五	二、四三	一、八〇五	七九三	七三七	青島品	濟南品	先出	輸入	他品	濱口	阪戸	大神	門宇	神大	其横合	示せは左の如し

金銀相場表

易商筋は當地在荷減少を見越して内地方面より輸入を企ておれり、當地製粉買社も徵發を恐れて小口商内手當のみ製造しつゝあり從つて氣配は大體強調、三十日の當地ストック總額約三万袋なり

◆石炭 貨車依然不通にて市場出廻なく當地貯炭は日に減少しつゝあり魯大は地賣炭をも値上を發表せり、輸入も目下愈々時季に入りたるも何分時局のため民船が沿岸に行かずために輸入なし、但しかゝる状體の一ヶ月も續くに於ては當地貯炭も當然減少する故その中に撫順日本炭の輸入あるべし

週間當港積出は上海仕向博山炭六、四〇〇屯淄川炭三、〇〇〇屯天津行淄川炭一、三〇〇屯横濱行博山炭一、〇〇〇屯焚料炭淄川炭三、四二〇屯博山炭五一〇屯なり

貿易日記

大正十四年十月末調査

青島物價表

建筑材料

日用品

同推 鮑 同同同漬

味食	□ 片素干味淺廣昆麥煎干高同鰯同推	□ 同同同漬	□ 松荀蟹鮎鯖福海
雜	ウ付草島野節茸乾	奈樂物	漬
增	ト海海豆物	良京梅澤物	神
白鹽	栗麵シ苔苔布粉子瓢腐中上中上	漬漬干庵	章漬苔
百一 升	一百一一同一百同同百十同同同百 本匁把個帖匁匁個匁	同同同百 匁	同同同同同同同
二七 音	二三三四四五二五六六四四	六二四二五	二三五八三三五五五五
二五 音	二三五四五五二五六六四四	六二四二五	二三五八三三五五五五
△×	○×××××△×××××△○	×××	××××××××
〇	〇〇	〇〇	〇〇

同牛 □ 大龜 龜龜上龜 □

同足

カスニモグタ □ 日

錄
第
七
百
二
週
報
經
濟
品
易
貿
易
輸
出
入
青
島
港

(大正十四年九月中)

三 膠 海 關 貿 易 統 計 三

輸入外國品

染織綢(幅30吋長33碼以下)	960	120	1.80
染紺綿天(齊巾製及綾及模造斜)	11,127 9,209 11,440 271	258 570 529 16,381 1,008	11.425 9.779 11.969 16,668 1.008
斜紋綢(斜紋綢及斜綢)	18 585 60 4,347 15	2,015 645 293 6,369 697	2.195 1.230 353 10.716 712
斜紋綢(斜紋綢及斜綢)	— 60 2,142	609 1,443 375	009 1.503 2,517
染薄地金巾(捺染綿)	11,066	424	11,490
捺染綿(棉花綿縫系綿糸及綿織品)	415	463	878
綿綿綿(手縫)	32,122 2,813	607 400	627 32,122 3,213
綿同(印度本)	3,919	—	4,077
新(亞麻大麻及黃麻製品)	2,424	2,250	5,361
綿毛毛(混綿織品)	6,752	457	7,083
金屬及礦石(金屬及礦石)	— 19	331 97	119
真鍮未鐵(金片及鐵)	23 11 25 284 1,138	6 2 3,188 1,807	20 25 3,485 3,045
鐵錫上鐵錫(釘ノ及外)	90 16,561 915 4	135 1,015 495 3,818	225 1,031 18,683 2,546 10,694
鐵銅器亞鉛(鉤引)	— 1 979 3	204 59 559 37	219 59 5 1,538 483
白麥酒(洋類)	1,082 14	707 225 40	2,054 36 47
蠟洋木(煙)	2,061 6	1,000 14 969	3,061 45 969
磁紙時石干(卷)	1,651 116	7,438	9,083 116
ア人人亦電(二造)	3,236 30 1,414 3,650 13	30 670 3045 422 3 182	3,250 3,22 2,688 3,650 32
玻璃硝窓燈(子及硝)	1,793	262	27.964 25 4,881 507 21,800
火用(電燈ヲ除)	— 500	2,553 418	2,190
燐(蘚及發)	— 36 17,008	20,982 4,381 52 3,958	—
燐手揮(入)	2,133 11,477 712	184	—
燐(蘚及發)	— 1,300	184	—
燐(蘚及發)	5,416 33,781 3	184	—
燐(蘚及發)	40,425	1,000	—
箱米日同ス(入)	549,440 1,759,648	—	540,440 1,759,648
同滑甘普紙(通印)	5,595 1,117 4,677	86,333 11 74 390	98,046 11 1,195 5,251
包印胡標昆(刷紙)	2,039 627	237 850	2,276 1,490
石同曹苟曹(性達)	331 217	112	228 331
營業赤白太(白)	3,397 2,118 61 4,419	42	329
冰木同野ワ(茶)	200 1,100 2,421 5,805 21,715	13,617 12,655 1,440	32 6,299 10,518 652 4,461
木同野ワ(砂)	923 36 357 2,431 256 210	35,187 1,117 491 600	209 1,100 16,038 54,945 23,164
木同野ワ(茶)	— 36 357 2,431 256 210	495 5 8 13 2,351	2,190 41 365 2,935 25 3,161

輸入支那品

(大正十四年九月中)

輸出支那品

品	名	單位	日本	米國	英國	香港	其他外國	大連	上海	其他支那港	合計	
生豆黃牛麥	牛柏豆肉酒	頭担"打	118 — 14,833 10	— — — —	— — — —	— — — —	— — — —	116 — — 7,400	— — 1,200	— — 2,960	234 — 14,833 11,570	
獸銅豚七	骨塊毛卜	担"屯"担"	5,992 34,745 866 —	— — — —	— — — —	— — — —	— — 198	— — 16	— — 83	— — —	5,992 34,745 866 297	
山棉綿	炭ス花糸	屯"担"	11,747 1,462 4,733 —	— — — —	— — — —	1,825 — — —	470 — — 18	1,116 — — —	55 30 454 3,214	32,572 455 — 2,048	6,295 — — 5,841	
黑蛋鴨鹽	棗白黃卵魚	"千担	— — 4,208 —	— — — —	— — — —	— — — —	— — — —	— — — —	963 — 4,22	— — —	963 — 4,63	
果硝落落	物子	鮮品柏生仁	34 — 333 5,777	— — — —	— — 1,982 —	— — — —	39 35	— — — —	— — — 27	2,425 207 1,895 2,196	— 378 — 90,772	2,489 629 9,872 100,151
頭來	花花	生	139 —	— —	— —	— —	— —	— —	95 —	47 —	— —	281

輸出支那品